

【緑地の樹】

ビワ

プロフィール：バラ科 ビワ属の常緑高木

ビワの花は茶色い毛に包まれて目立たないのですが、よく見るとかわいい花です。それに、なんとも良い香り！ それもそのはず、なんとビワはバラ科の木だったのですね。他のバラ科の花は暖かい時期に咲いてあでやかなのに、どうしてこの花は冬に、ひっそりと咲くのでしょうか？

緑地の端っこ、一番下の道沿いにたった一本、ビワの木があります。誰が植えたわけでもなく、多分鳥が種を運んできたのでしょう。

昔は高級果物でしたが、最近は種ばっかり大きくて食べるところが少ないと、ちょっと敬遠されているようです。でもビタミンもミネラルも豊富な果物です。葉っぱも薬効もあり、お茶にもなります、万能な木なのですね。

中国原産ですが、学名は”*Eriobotrya Japonica*”だそうです。

(小川)



早く実がなってね！